

第7回 薬事エキスパート研修会  
～日本はグローバル治験に追いつけるか～

主 催 財団法人日本公定書協会  
<http://www.sjp.jp>

国際的な規模での医薬品開発が進む中で、ここ数年、アジア各国におけるグローバル治験が盛んになって来ております。しかしながら、わが国はそのような世界の流れから完全に切り残されようとしております。

わが国が国際的な医薬品開発から取り残されることは、わが国への最先端の医薬品や医療機器の導入が大幅に遅れ、患者さんへの最先端の医療の提供が出来なくなることを意味しております。さらには、わが国で行われる治験は常に諸外国の後追いとなり、治験関係者の治験参加へのインセンティブも大きく低下することが懸念されております。

そのような状況を改善するため、ここ数年、官民を上げた治験環境等の改善のための取り組みがなされておりますが、なお十分な効果を上げるには至っておりません。

研修会では、グローバル治験をめぐる世界的な動きや、厚生労働省が進めている治験環境改善のための各種施策、グローバル治験推進のための製薬企業の取り組み等についてご紹介いただき、改善の路を探りたいと思います。つきましては、このような趣旨にご賛同いただき、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

つきましては、このような趣旨にご賛同いただき、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

【日時及び場所】

日 時	場 所
平成19年4月24日(火) 13:00～17:00	日本薬学会 長井記念ホール 東京都渋谷区渋谷2-12-15 Tel. 03-3406-3326 地図は協会ホームページをご覧ください

【申込要領】

1. 申込方法及び期日

(1) 下記振替用紙にてお申し込み下さい。

法人会員：当協会から送付する規定の振替用紙

個人会員／非会員：

郵便局備えつけの振替用紙

振込先：(財)日本公定書協会

振替口座 00190-9-97409

\* 次の事項を振替用紙の通信欄にご記入の上、受講料をご送金下さい。折り返し聴講券をお送り致します。郵便振替払込金受領証をもって領収証に代えさせていただきます。

協会ホームページに記入例がございます。

通信欄：必ずご記入下さい。

- (1) 会社名、所属
- (2) 聴講者名：1枚につき1氏名
- (3) 連絡先：郵便番号、住所、電話番号
- (4) 「薬事7-治験」の文字

\* 銀行振込、現金送金をご遠慮願います。なお、受講料受領後の払い戻しは致しませんので、予めご了承下さい。

(2) 入金確認順に受付し、定員に達し次第締切で

す。平成19年4月10日(火)以降にお振り込みの場合は、ご連絡下さい。受付状況等は協会ホームページに掲載しております。

2. 受講料(消費税込)：要旨集代を含みます。

・ 日本公定書協会法人会員

1名につき 10,000円

(法人会員は1口につき1名が会員扱い)

・ 個人会員／非会員 1名につき 15,000円

3. 問合せ先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15

財団法人 日本公定書協会

電話 03-3400-5634(代)

03-3400-5644

(薬事エキスパート研修会担当)

4. 注意事項

○法人会員にお送りした規定の振替用紙は、会員証となりますので、必ず関係部門へお廻し下さい。

○当日、撮影及び録音はご遠慮願います。

○原則として電話、FAXでの受付及び当日受付は致しませんのでご了承下さい。

第7回 薬事エキスパート研修会  
～日本はグローバル治験に追いつけるか～

- 13:00-13:10 開会挨拶 寺尾 允男（日本公定書協会 会長）
- 13:10-14:00 グローバル治験の国際的現状と将来（仮題）  
大林 幹彦  
（クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン  
株式会社代表取締役副会長）
- 14:00-14:50 グローバル治験の国際的現状と日本参加への課題(仮題)  
岩崎 甫  
（グラクソ・スミスクライン株式会社取締役開発本部  
副本部長）
- 
- 14:50-15:10 休憩
- 
- 15:10-16:00 治験環境改善に向けた行政の取り組みと成果(仮題)  
佐藤大作  
（厚生労働省医政局研究開発振興課）
- 16:00～17:00 総合討論  
司会 土井 脩  
（日本公定書協会専務理事）

\* 演題，講師，時間等一部変更する場合がありますので，予めご了承下さい。

財団法人日本公定書協会  
<http://www.sjp.jp>